

第十一

秘

關副密第五二八號

軍事極秘書類進達ニ關スル件報告

昭和十四年七月四日 關東軍司令官 植田謙吉

陸軍大臣 板垣征四郎殿

首題ノ件左記ノ通進達ス

左記

調製年月日	件	名
昭一四 三	昭和十四年度 第二二次	關東軍特種演習細部規定

一連番號	部
軍事極秘 第一壹號	壹

12

內奉

(大連高木納)

三七

陸軍大臣 板垣征四郎 官房

4.7.12 軍事課

關東軍司令部

2100

先 布 配

番號

(本票ハ此處ヨリ分發シ關東軍司令部ヨリ直接交付ヲ受ケタル部隊ニ保管シ置クコト)

昭和十四年夏
第二次關東軍特種演習細部規定

軍事極秘

自秘第
至秘第

第
號

第
部

甲

配布區分票

(受領部隊)

陸軍大臣

昭和十四年七月五日

昭和十四年七月五日

軍事極秘 第一號

昭和十四年度
第二次
關東軍特種演習細部規定

關東軍司令部調製

昭和十四年七月三日調製	紙數(表紙共)	拾貳枚
附表附圖	五	枚

昭和十四年度第二次關東軍特種
演習ノ細部ニ關シ本書ノ通規定
ス

昭和十四年七月三日

演習統監陸軍少將西原貫治

第一章
第二章
第三章
第四章
第五章
第六章
第七章
第八章

總則
機密保持
編成
服裝及標識
集合解散及輸送
宿營給養
通信
雜則

目次

昭和十四年度
關東軍特種演習細部規定

第一章 總則

第一 本規定ハ昭和十四年度第二次關東軍
 特種演習規定(以下軍演習規定ト略稱ス)ニ基キ
 細部ノ事項ヲ定ム

第二 演習日課豫定附表第一ノ如シ

第二章 機密保持

第三 機密ノ保持ニ關シテハ軍演習規定ニ據ル外
 以下各項ニ據ルモノトス

第四 機密保持ノ爲メ警戒ハ主トシテ防諜 敬言
 戒戢及一般ノ警戒勤務員之ニ任スルモ各演習

部隊亦其ノ業務ニ應シ適宜警戒ノ處置ヲ講
スルト共ニ演習參加將校以下常ニ警戒心ヲ緊
張シ以テ防諜ノ完璧ヲ期スルモノトス

第五 防諜上疑ハシキ事象ハ縱ヒ此末ノ事項
ト雖モ之ヲ等閑ニ附スルコトナク時機ヲ失セス最寄ノ
上官又ハ憲兵ニ連絡スルモノトス但シ事急ヲ要スル
場合ニ於テハ先ツ應急ノ處置ヲ講スルモノトス

第六 各自ハ常ニ言動ヲ慎ミ外部ニ對シ機密ヲ
確保スル外演習部隊相互間ニ於テモ各々其ノ
管掌業務ノ内容ニ關シ之カ機密保持ノ責ニ任

スルト共ニ他ノ管掌業務ノ内容ヲ窺知セントス
ル言動ヲ嚴ニ戒ムルモノトス

第七 本演習ノ内容ニ關シテハ何入ト雖モ個人的
ニ記録スルヲ禁ス

第八 演習準備實施及之カ成果ニ關スル記
録(寫眞ヲ含ム)ハ統監ノ命令又ハ許可シタルモノ
ニ限ル又演習間ニ於ケル之カ調製保管出納
ハ各々調製ニ任シタル部隊長ニ於テ其ノ責ニ任
スルモノトス

演習終了後ノ處理ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ
又

據ルモノトス

第九 演習ニ關スル印刷ハ其ノ部數ヲ局限シ
且必ス印刷所ニ於テ行ヒ演習ノ内容ヲ窺知
シ得ル書類、印刷及印刷完了後ノ原紙、反古
類、焼却等ハ關係料校監督ノ下ニ行フモノトス

第十 演習ノ内容ニ關スル命令、指示等ハ勉
メテ印刷ヲ避ケ主任者相互口頭ヲ以テシ筆記
ヲ要スルモノハ統監部ヨリ支給スル手簿(頁ヲ記
入セルモノ)ヲ用ヒ該手簿ハ適時統監部ニ於テ回
收焼却スルモノトス

第十一 演習間反古類ハ毎日各部隊毎ニ取纏
メ責任者監督ノ下ニ焼却スルモノトス

第十二 電信及電話通信ノ爲ノ機密保持ニ
關シテハ本規定第七章ニ據ル外亦戰要務令
第七篇第四章ノ規定ヲ準用スルモノトス

第十三 演習間郵便物ノ發受ハ一切管理部主
任者ヲ經由スルモノトス

第十四 私信書ノ發送ハ勉メテ之ヲ制限シ下士官
以下ノ發信書ハ各演習部隊長又ハ同官ノ特ニ指
定セル將校ニ於テ點檢捺印ノ上管理部ニ差出スモ

ノトス

第十五 部隊及資材ノ輸送ニ方リテハ兵力、編組、演習ノ機構、内容等ヲ他ニ窺知セラレサル如ク書類、紙屑類ノ處理等ヲ適確ナラシムル外特ニ遺留書類物品等ヲナカラシムルコトニ留意スルモノトス

第十六 資材ノ輸送ニ方リテハ梱包ヲ堅確ニシテ領勤務ヲ嚴正ナラシムルモノトス

第十七 演習ノ後始末ニ方リテハ痕跡ノ消滅ヲ完全ニシテ特ニ廢棄物品ノ處理ヲ適確ニスル等爾後ニ於ケル機密漏洩ノ端緒ヲ殘ササルコトニ萬全ヲ

期スルモノトス

第十八 機密保持ノ爲ノ演習間ノ直接警戒及禁
制ノ細部ニ關シテハ特ニ指示スル外撒(制)毒教
範第二部ヲ準用スルモノトス

第三章 編 成

第十九 演習部隊ノ編成及各部隊ノ主要任務附
表第二ノ如シ

演習參加部隊ハ鐵道末地到着ト共ニ附表第二
ニ示ス演習部隊ノ編成ニ入ルモノトス

第二十 統監部ノ編成擔任官ハ習技古林少佐トス

統監部諸官ノ業務分擔區分ハ別ニ定ム

第三十一 演習參加部隊ハ七月十五日迄ニ附表第二ニ基ク職員表(下士官以上)ヲ内地部隊ニ在リテハ習技長在滿部隊ニ在リテハ勝村部隊長ノ許ニ送付スルモノトス

第四章 服裝及標識

第三十二 演習部隊ノ服裝及馬裝ハ總テ軍裝トシ一般ニ略帽ヲ着用シ行厨容器ヲ携行スル外細部ニ關シテハ各參加部隊毎ニ適宜規定スルモノトス但シ内地ヨリノ參加部隊ハ各衛戍地出發ノ際ヨリ兵科

部ノ定色(襟部徽章共)ヲ脱シ又ハ適宜ノ覆ヲ装ス
ルモノトス

第二十三 資材ノ各梱包ニハ陸支密第九九五號所定
ノ標識ノ外左ニ掲クル各部隊ノ資材ハ夫々左圖ノ如
キ標識(荷札ニ墨書ス)ヲ附スルモノトス

科 研 ヲ ○
技 術 部 ヲ ⊕

習 校 ヲ △
軍 醫 校 ヲ ||

迫 二 ヲ □
憲 兵 隊 ヲ ケ

5

天候等ノ爲鐵道末地ノ演習地間ノ輸送遲滯スルコト
 アルヲ顧慮シ演習日課表^{豫定}ニ基キ演習地到着ノ緩
 急順序ヲ區分標示スルト共ニ資材目錄ニ之ヲ明示シ
 テ管理部ニ通報スルモノトス之カ爲要スレハ〇△等
 ノ内^部又ハ^{||}ノ間隔内ニ適宜著色スルコトヲ得

第五章 集合解散及輸送

第二十四 演習部隊ハ附表第三ニ據リ鐵道末地ニ
 集合シ統監部ノ計畫ニ依リ自動車輸送ヲ以テ演
 習地ニ到ルモノトス

第二十五 各部隊ノ資材ハ附表第三ニ示ス資材到着

豫定日時ヲ基準トシテ逐次鐵道末地ニ到着スル如ク輸送ヲ律スルモノトス

演習參加部隊ノ資材中辛領者ノミヲ附シテ輸送スルモノノ鐵道末地ニ於ケル卸下ハ統監部ニ於テ擔任ス

鐵道末地ト演習地間ノ各部隊ノ資材輸送亦同シ
 第二十六 集合及解散ノ爲鐵道末地ニ到着セル部隊
 (資材辛領者ヲ含ム)及單獨者ハ速カニ同地宮澤
 部隊内ニ在ル統監部出張所(西原部隊出張所ト
 稱呼ス)ニ連絡スルモノトス

第二十七 解散ニ關シテハ別ニ定ム

第六章 宿營及給養

第二十八 廠營ノ配宿、諸勤務等ニ關シテハ別ニ定ム

第二十九 廠營ノ爲所要ノ寢具、食器類等ハ明

石部隊及自動車隊ニ在リテハ夫々自隊ノモノヲ携

行シ其ノ他ノ部隊ノ爲ニハ統監部ニ於テ準備ス

第三十 集合及解散ニ際シテノ給養ハ左ノ各號ニ據

ルモノトス

一 集合ニ方リテハ一般ニ集合當日ノ夕食(部隊輸送

ニ依リ午前中ニ集合スルモノニ對シテハ當日晝食)

一ヨリ統監部ニ於テ給養ヲ擔任ス

二解散ノ場合ハ單獨者ニ對シテハ鐵道末地到着
當日ノ晝食迄部隊ニ對シテハ同地出發當日
ノ夕食迄統監部ニ於テ擔任ス

第七章 通信

第三十一 本演習ノ爲特ニ施設スル通信網ノ種類同

回線圖及之カ使用期間附圖第一、第二ノ如シ

第三十二 軍用電話、電信ノ使用權ニ關シテハ左ノ

各號ニ據ルモノトス

一、電話

一、廠舎電話ノ使用ハ將校(技師ヲ含ム以下同シ)
及將校ノ許可證ヲ有スル者ニ限ル

二、司令電話ノ使用ハ各掛主任將校及該將校ヨリ
特命セラレタル者ニ限ル

二、無線電信

各部隊(部班)長以上ニ限ル但シ豫メ統監部防
謀主任ノ點檢ヲ受ケタル後賴信スルヲ要ス

第三十三 電話ヲ以テ演習内容ヲ窺知シ得ル事項ノ
通話ヲ禁ス

第三十四 本演習ノ爲地方電話ノ使用ハ統監ノ許可

シタル場合ノ外之ヲ禁ス但シ演習地一鐵道末地間
 ノ警察電話ニ限り突發事故若クハ急ヲ要スル連絡
 事項ニシテ他ニ方法ナキ場合ニ限り關係先任
 者ハ其ノ責任ヲ以テ之ヲ使用スルコトヲ得然ルト
 キハ爾後速カニ其ノ事由ヲ統監ニ報告スルモノトス
 而シテ此ノ場合ニ於テモ通話内容ヲ他ニ聴取セシメ
 サル爲豫メ適宜ノ處置ヲ講スルモノトス

第三十五 電報ハ總テ暗號ヲ用ヒ其ノ組立並ニ翻譯
 作業ハ統監部内所定ノ室内ニ於テ行フモノトス
 右作業間ハ頼(受)信人及暗號主任者ノ外 作業

室内ニ立入ルヲ禁ス

第三十六 公衆電報ノ發信ヲ必要トスル場合ハ統
監ノ認可ヲ受ケ且統監部防謀主任ノ點檢ヲ受
ケタル後發送ノ手續ヲ執ルモノトス

第八章 雜 則

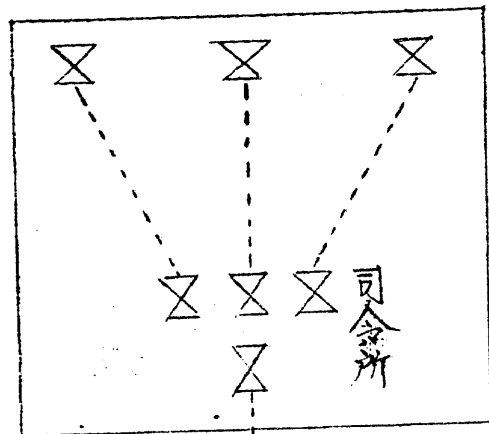
第三十七 本規定ノ配布區分及返函ハ附表第四ニ據
ルモノトス

第三十八 軍規定第十ニ據リ見學ヲ許可セラレタル者
ハ齊々哈爾ニ到着ノ日時ヲ豫メ同地勝村部隊ニ
通報スルモノトス

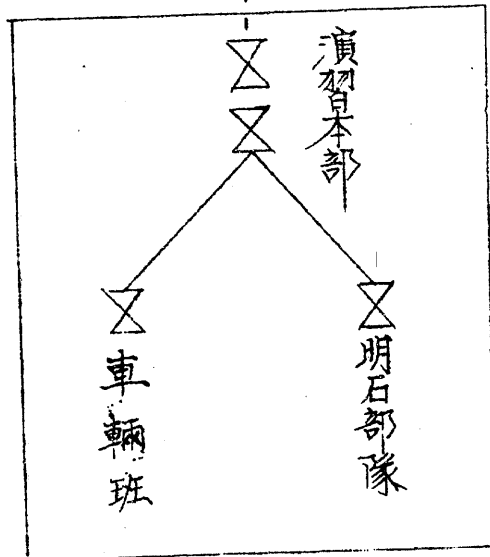
有線通信回線圖

附圖第一

各演習現場



廠 舍

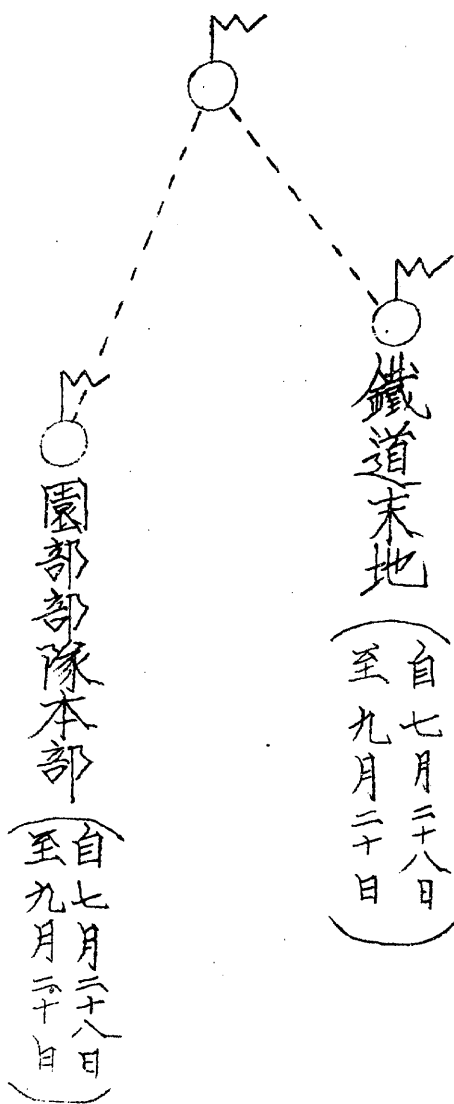


備考

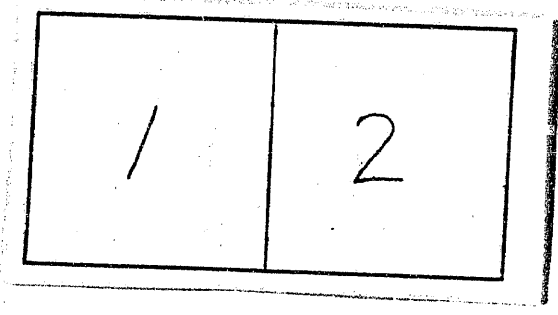

司令電話 (自八月二日 至九月十日)
 廠舍電話 (自七月三十日 至九月十八日)

無線通信系

附圖第二



分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 13 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>	

附表第二

演習部隊編成表

區		分		將		人		馬		差		出		區		分		
主要任務		部附		部		部		部		部		部		部		部		
一、演習計畫及全般指導	二、防謀警戒	三、一般疲勞	一、宿營休養	二、總管理	三、交通	四、酒保	一、演習用資材整備保管	二、消毒所勤務	氣象班	通信班	輸送班	救護班	憲兵	宮本部隊	第一班	第二班	明石部隊	明石中佐
一、演習計畫及全般指導	二、防謀警戒	三、一般疲勞	一、宿營休養	二、總管理	三、交通	四、酒保	一、演習用資材整備保管	二、消毒所勤務	氣象班	通信班	輸送班	救護班	憲兵	宮本部隊	第一班	第二班	明石部隊	明石中佐
四	三	一	二	三	二	一	一	二	一	二	一	一	二	三	四	三	二	一
二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八
二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八
二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八
二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八
二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八
二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八

備考

一、團司令部、科研、固有編制、勝村部隊、習校、医校、
 二、固有編制、明石部隊、園部部隊、自動車中隊、憲
 兵隊、八兼務、三、八經理部、四、衛生部、示マ
 三、本表、外、雨下、実施、ノ、爲、關、東、庫、飛行、隊、リ、若、干、機、参加、ス
 四、勝村部隊第一班、自動貨車、ヲ、配、屬、ス

附表第三

演習部隊集合日次一覽表

考 備	月 八					月 七			日 次	
	12日	8日	5日	1日	30日	28日	26日	24日		
<p>一、(指)ハ指導部(管)ハ管理部、(資)ハ資材班、(通)ハ通信班(輸)ハ輸送班(救)ハ救護班(憲)ハ憲兵(官)ハ官本部隊、(勝)ハ勝村部隊第一班(勝二)ハ勝村部隊第二班(明)ハ明石部隊トス</p> <p>二、本表、外七月十九日ヨリ同二十三日ノ間ニ於テ資材集積及道路偵察ノ為勝村部隊、明石部隊及自動車隊ヨリ所要ノ人員ヲ派遣スルモノトス</p> <p>三、本表ノ外内地資材輸送ノ為科研及習校ヨリ所要ノ掌領者ヨリ先發セシムルモノトス</p> <p>四、明石部隊ノ主力ハ集合當日其他ハ集合ノ翌日演習地ニ向ヒ去發ノ豫定</p>		若干							資材到着日次	
										押研
										廠舎内検定
										目資材一部
										二員
										二
										一
										一
										一
										一

0042

附表第四

規定配布及返納区分表

部	隊	配布区分	返納区分	摘	要
陸軍省	1				
參謀本部	2				
教育總監部	3				
關東軍司令官の部	4 5 6 7 8				總監部用各部ヲ含ム
陸軍習志野學校	9 10		10 返		
陸軍科學研究部	11		返		
陸軍軍醫學校	12		返		
勝村部隊	13		返		
明石部隊	14		返		
園部部隊本部	15		返		
關東軍憲兵司令部	16		返		

備考

一 配布区分欄中數字ハ書類番號ヲ示スモノトス
 二 返納スヘキ規定ハ昭和十四年十月末日迄ニ關東軍司令部
 三 到着スル如ク送付スルモノトス